

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 ディーエムソリューションズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 6549 URL http://www.dm-s.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花矢 卓司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 吉田 慎一郎 TEL 0422-57-3921
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,024	1.4	284	28.4	290	24.9	192	45.3
2023年3月期第2四半期	8,900	11.6	221	572.8	232	567.8	132	-

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 192百万円（45.3%） 2023年3月期第2四半期 132百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	69.53	67.90
2023年3月期第2四半期	47.85	47.49

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,731	2,670	38.6
2023年3月期	5,602	2,477	42.9

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 2,597百万円 2023年3月期 2,405百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2024年3月期の配当は未定です。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,806	10.9	500	8.2	512	7.4	330	5.0	119.39

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	2,810,000株	2023年3月期	2,810,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	40,291株	2023年3月期	40,291株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	2,769,709株	2023年3月期2Q	2,769,746株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が弱まった一方で、ウクライナ情勢の長期化や世界的な原材料及びエネルギー価格の高騰等により、先行きの不透明な状況で推移しました。

このような事業環境の中、当社グループはダイレクトマーケティング実施企業に対して、マーケティングの各局面において最適なソリューションを提供するべく努めてまいりました。また、積極的な人材採用を行い、営業力及び提供サービスの強化に取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は9,024,378千円（前年同期比1.4%増）、営業利益は284,180千円（前年同期比28.4%増）、経常利益は290,156千円（前年同期比24.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は192,569千円（前年同期比45.3%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

i) ダイレクトメール事業

ダイレクトメール事業におきましては、充実した営業体制を基盤に、企画制作からデザイン、印刷、封入・封緘作業を一括して手がけるワンストップサービスの提供、郵便やメール便のスケールメリットを活かした提案型営業を積極的に展開いたしました。また、EC通販市場の拡大に伴い需要が増加している宅配便等の小口貨物を取扱うフルフィルメントサービスについては、サービス提供体制の強化に努めました。一方で、9月に新たなフルフィルメントセンターの設立のための土地建物を取得しており、これに係る取得関連費用が発生しております。

この結果、新規顧客の開拓及び既存顧客からの受注が堅調に推移し、売上高は7,874,382千円（前年同期比3.4%増）、セグメント利益は400,345千円（前年同期比1.0%減）となりました。

ii) インターネット事業

インターネット事業におきましては、コンサルティング型マーケティングサービスの提供を強化するとともに、これまで培ったWebサイトのコンテンツ制作ノウハウを活かしたパーティカルメディアサービス（注）にも引き続き注力いたしました。

この結果、売上高は668,686千円（前年同期比7.3%減）、セグメント利益は141,383千円（前年同期比50.4%増）となりました。

（注）パーティカルメディアサービスとは、特定の分野に特化した自社Webサイトの運営を通じて、利用者へ有益な情報や各種サービスを提供するサービスです。

iii) アパレル事業

アパレル事業におきましては、子会社である株式会社ピアトランスポート（以下、ピアトランスポート）の販売体制の整備充実を図るとともに経営体制の強化を進め、ピアトランスポートのサイトを通じた商品の販売の促進に努める一方で、為替やインフレ等の外部環境の影響を受けました。

この結果、売上高は481,309千円（前年同期比14.7%減）、セグメント利益は46,119千円（前年同期比139.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は6,731,980千円となり前連結会計年度末に比べ、1,129,970千円増加しました。これは主に、建物および構築物の増加503,168千円及び土地の増加860,840千円があった一方で、現金及び預金の減少247,958千円があったことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は4,061,559千円となり前連結会計年度末に比べ、937,400千円増加しました。これは主に、長期借入金の増加1,162,056千円があった一方で、買掛金の減少100,055千円及び短期借入金の減少100,000千円があったことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は2,670,420千円となりました。主な内訳は、資本金342,591千円、資本剰余金268,758千円、利益剰余金2,036,637千円などです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ247,958千円減少し、1,075,692千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は29,063千円（前年同期比92.7%減少）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益290,156千円に対して、棚卸資産の増加額178,874千円及び仕入債務の減少額100,330千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は1,429,643千円（前年同期比1,848.3%増加）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,459,985千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果得られた資金は1,150,465千円（前年同期は236,219千円の支出）となりました。これは主に長期借入れによる収入1,380,000千円があった一方で、短期借入金の返済による支出100,000千円及び長期借入金の返済による支出128,940千円があったことによるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,323,650	1,075,692
受取手形及び売掛金	2,088,770	2,049,785
棚卸資産	170,762	349,637
その他	211,452	145,127
貸倒引当金	△7,539	△7,624
流動資産合計	3,787,096	3,612,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	200,166	703,334
土地	668,606	1,529,447
その他(純額)	283,001	278,606
有形固定資産合計	1,151,774	2,511,387
無形固定資産		
のれん	190,275	178,383
その他	49,460	43,085
無形固定資産合計	239,735	221,468
投資その他の資産		
その他	425,302	388,611
貸倒引当金	△1,898	△2,105
投資その他の資産合計	423,403	386,506
固定資産合計	1,814,913	3,119,362
資産合計	5,602,009	6,731,980
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,436,152	1,336,097
1年内返済予定の長期借入金	228,994	317,998
未払法人税等	106,231	116,875
賞与引当金	127,671	120,621
その他	574,194	356,290
流動負債合計	2,473,244	2,247,883
固定負債		
長期借入金	643,434	1,805,490
その他	7,481	8,186
固定負債合計	650,915	1,813,676
負債合計	3,124,159	4,061,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	342,591	342,591
資本剰余金	268,758	268,758
利益剰余金	1,844,067	2,036,637
自己株式	△50,292	△50,292
株主資本合計	2,405,123	2,597,693
新株予約権	72,726	72,726
純資産合計	2,477,850	2,670,420
負債純資産合計	5,602,009	6,731,980

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	8,900,120	9,024,378
売上原価	7,376,282	7,434,926
売上総利益	1,523,838	1,589,452
販売費及び一般管理費	1,302,559	1,305,271
営業利益	221,278	284,180
営業外収益		
受取利息	4	91
受取配当金	13	13
持分法による投資利益	7,611	5,467
助成金収入	830	210
為替差益	3,951	1,489
その他	2,249	2,672
営業外収益合計	14,660	9,945
営業外費用		
支払利息	2,557	3,453
支払手数料	1,132	378
その他	12	137
営業外費用合計	3,702	3,969
経常利益	232,237	290,156
特別損失		
減損損失	26,878	—
特別損失合計	26,878	—
税金等調整前四半期純利益	205,358	290,156
法人税、住民税及び事業税	72,827	97,586
四半期純利益	132,531	192,569
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	132,531	192,569

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	132,531	192,569
四半期包括利益	132,531	192,569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,531	192,569
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	205,358	290,156
減価償却費	60,125	61,198
のれん償却額	11,892	11,892
減損損失	26,878	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,623	291
受取利息及び受取配当金	△17	△105
支払利息	2,557	3,453
為替差損益 (△は益)	△3,951	△2,156
持分法による投資損益 (△は益)	△7,611	△5,467
売上債権の増減額 (△は増加)	△115,517	39,260
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△12,128	△178,874
仕入債務の増減額 (△は減少)	117,805	△100,330
未払金の増減額 (△は減少)	△6,707	△71,301
賞与引当金の増減額 (△は減少)	19,698	△7,049
その他	5,869	76,646
小計	305,874	117,614
利息及び配当金の受取額	17	105
利息の支払額	△2,557	△3,453
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	96,092	△85,202
営業活動によるキャッシュ・フロー	399,427	29,063
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△55,006	△1,459,985
ソフトウェアの取得による支出	△15,002	△9,423
敷金及び保証金の差入による支出	△3,370	—
その他	—	39,764
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,379	△1,429,643
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
長期借入れによる収入	—	1,380,000
長期借入金の返済による支出	△134,892	△128,940
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,327	△594
財務活動によるキャッシュ・フロー	△236,219	1,150,465
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,200	2,156
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	92,029	△247,958
現金及び現金同等物の期首残高	1,078,262	1,323,650
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,170,292	1,075,692

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ダイレクトメ ール事業	インターネッ ト事業	アパレル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,614,447	721,402	564,270	8,900,120	—	8,900,120
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,720	—	2,052	4,772	△4,772	—
計	7,617,167	721,402	566,323	8,904,893	△4,772	8,900,120
セグメント利益	404,349	94,001	19,246	517,597	△296,319	221,278

(注) 1. セグメント利益の調整額△296,319千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△296,319千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産である新宿オフィスに係る固定資産について、新宿オフィスの閉鎖の意思決定を行ったことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては26,878千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ダイレクトメ ール事業	インターネッ ト事業	アパレル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,874,382	668,686	481,309	9,024,378	—	9,024,378
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,388	—	1,218	3,606	△3,606	—
計	7,876,770	668,686	482,528	9,027,985	△3,606	9,024,378
セグメント利益	400,345	141,383	46,119	587,848	△303,668	284,180

(注) 1. セグメント利益の調整額△303,668千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△303,668千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。